

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 5 月 21 日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県会津若松市北滝沢二丁目2番47号

氏 名 ヤマト環境開発株式会社

代表取締役 成 田 政 央

電話番号 0242-39-2151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

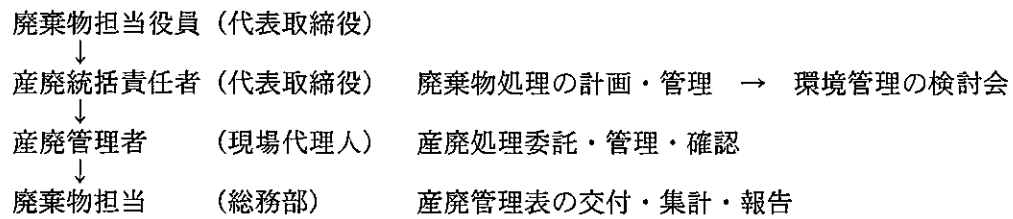
事業場の名称	ヤマト環境開発株式会社
事業場の所在地	福島県会津若松市北滝沢二丁目2番47号
計画期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	中分類 職別工事業 小分類 その他職別工事業
② 事業の規模	完成工事高 24,221 万円
③ 従業員数	8人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事現場 → 廃プラスチック 中間処理委託（焼却・熱回収） → 紙くず 中間処理委託（焼却・熱回収） → 木くず 中間処理委託（焼却・熱回収） → 繊維くず 中間処理委託（焼却・熱回収） → ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 再生処理委託（埋立） → がれき類 中間処理委託（再生骨材）

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 受注量による増減が激しいため、特に取り組みを行っていなかった。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現場施工計画や施工を工夫し、発生量の抑制を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場から排出される全ての廃棄物を、各処分場の受け入れ品目ごとに分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場から排出される全ての廃棄物を、リサイクルまたは減量するため、分別解体後さらに人力による手選別を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託契約をした廃棄物処理業者から、期限内に返送される管理票をチェックし適正処理を確認する。		

②計画	【目標】	別紙のとおり、	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 委託契約をした廃棄物処理業者から、期限内に返送される管理票を チェックし適正処理を確認する。 また不適正処理などで改善が見込めない場合には、別の処理業者に 委託する措置をとる。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

排出の抑制及び処理の委託 集計表

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
① 現状 【前年度（令和7年度）実績】												
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	混合	がれき（石綿含有）	混合（石綿含有）	紙	計
排出量（t）	38,985	1054,010	9,740	54,120	1373,943	3,880	0,000	37,900	5,700	0,260	2,610	2581,148
② 計画 【今年度（令和8年度）目標】												
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	混合	がれき（石綿含有）	混合（石綿含有）	紙	計
排出量（t）	36,000	1050,000	8,000	51,000	1350,000	3,000	0,000	33,000	4,700	0,200	2,100	2538,000

産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
① 現状 【前年度（令和7年度）実績】												
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	混合	がれき（石綿含有）	混合（石綿含有）	紙	計
全処理委託量（t）	38,985	1054,010	9,740	54,120	1373,943	3,880	0,000	37,900	5,700	0,260	2,610	2581,148
優良認定処理業者への処理委託量（t）	6,130	420,720	8,110	47,120	0,000	3,880	0,000	30,880	5,700	0,260	1,710	524,510
再生利用業者への処理委託量（t）	36,535	605,020	1,630	0,000	1373,943	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	2017,128
認定熱回収業者への処理委託量（t）	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
他熱回収を行う業者への処理委託量（t）	1,380	353,240	2,210	0,000	0,000	3,880	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	350,710
② 計画 【今年度（令和8年度）目標】												
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	混合	がれき（石綿含有）	混合（石綿含有）	紙	計
全処理委託量（t）	36,000	1050,000	8,000	51,000	1350,000	3,000	0,000	33,000	4,700	0,200	2,100	2538,000
優良認定処理業者への処理委託量（t）	5,000	401,000	7,000	46,000	0,000	3,000	0,000	26,000	4,700	0,200	1,600	494,500
再生利用業者への処理委託量（t）	36,000	600,000	1,000	0,000	1350,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1987,000
認定熱回収業者への処理委託量（t）	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
他熱回収を行う業者への処理委託量（t）	1,000	351,000	2,000	0,000	0,000	3,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	357,000